

# ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

Http://info.pref.fukui.lg.jp/danken/danjo/f-net/f-net1.html



ふくい女性ネットREPORT 18号は、東京で開催された「NPO法人 J-Win 2011年度 拡大会議」の様子と、第4期の活動を終えたメンバーの声をお届けいたします。



## J-Win 2011年度 拡大会議に参加



平成24年3月2日(金) ホテル イースト21東京(東京都)にて開催された、NPO法人 J-Win 2011年度 拡大会議に、ふくい女性ネットメンバー5名が参加しました。J-Winは、企業で活躍する女性幹部や幹部候補生の相互交流と自己研さんなどを目的としているNPO法人で、ふくい女性ネットは、その活動をお手本にしています。

拡大会議は、理事長の内永ゆか子氏の挨拶、第3期メンバーの活動報告、政策研究大学院大学教授 大田弘子氏の講演、そして「2012 J-Win ダイバーシティ・アワード」発表という流れで行われました。その後の懇親会には、内閣府特命担当大臣 中川正春氏と経済産業大臣 枝野幸男氏も祝辞に駆けつけられました。

J-Winの皆さんの熱気をひしひしと感ずることができ、参加したメンバーも、大いに刺激を受けました。

## Women to the Top!!



挨拶に立った理事の内永さんは、「5年間の活動を通じ、J-Winは3層のネットワークを構築してきた。各層が目標を掲げ、それに向かって取り組んでいる。今後は、若い人たちにフィードバックしていくことが課題であり、国や海外、メディア、大学へも情報発信し、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)を広めていきたい」と話しました。

常に向上心を持ち、目標に向かって突き進んでいく強さが、言葉の端々ににじみ出ていました。



NPO法人 J-Win  
理事長 内永 ゆか子氏

株式会社ベネッセコーポレーション  
取締役副社長  
ベルリッツコーポレーション  
代表取締役会長兼社長兼CEO

### 《J-Win の3層のネットワーク と各層の目標》

エグゼクティブ・ネットワーク (32名)	<b>Give Back!!</b> 「次世代女性リーダーの育成」 「グローバル・ネットワークの強化」
ネクスト・ステージ (279名)	<b>Gear Up!!</b> 「幅広い知見・教養を磨く」 「アウトリーチ(積極的に出向く)活動の展開」
女性メンバー (246名)	<b>Switch On!!</b> 「リーダーとしての自覚と自信」 の体得



(J-Win拡大会議の様子。メンバーや企業の役員等約520名が集合)

## 【 J-Win3期メンバー活動報告 】



・9つの分科会から、それぞれの1年間の活動を漢字1文字に表して、成果を報告。目標に対しての結果と、次年度の課題を具体的に示していました。

### 報告を聞いて

・報告者の堂々と自信に満ちた様子に、「私も負けていられないな」と挑戦心が湧いてきました。意識(向上心)の高さを見習いながら、福井の働き方にあった福井らしいキャリアアップのためのネットワーク運営や、勉強会の方法を見つけたいと思いました。

・各分科会の発表では、自分達の目標について、情報収集・実態把握・分析・課題対策・達成のための具体案の提示まで行い、それに関する具体的な数値を示したり、文献なども活用していました。仕事の進め方においても、具体的な提言を行う際の良い参考になりました。

・また、J-Winメンバーのレベルの高さに、非常に衝撃を受けました。ひとつの分科会の人数は多いのに、各々のテーマに対して全員が課題・問題を探り、具体策を講じており、目標に向かっていく積極的な姿勢と、意識の高さを感じました。発表も具体的でわかりやすく、聞き手のことも考えており、プレゼンの仕方の勉強にもなりました。

## 【 基調講演「日本の成長戦略～グローバル化と多様性～」】

政策研究大学院大学 教授  
大田 弘子 氏

元経済財政政策担当大臣で、政策研究大学院大学教授の大田弘子氏の基調講演がありました。大田氏は、日本経済と世界経済の現状と今後の見通しについて語ったほか、経済成長への不安要因、それを取り除くための具体策を提示しました。

また、女性の進出はもちろん、若い人が、もっともっと前面に出てくる社会であるべきだと話しました。

### 講演を聞いて

東日本大震災を契機に、日本は大きな分岐点に立たされており、経済成長していくには、日本内部の色々な問題をクリアにしていかななくてはならないこと、特に高齢化対策とそれに関する環境づくりが必要という内容が心に残りました。

営業職である自分にとって、これから期待される市場、そこで求められるスキルなどの内容が参考になりました。

また、「グローバル」というキーワードについて、改めて考えさせられました。日本経済を良くするには、『井の中の蛙』ではいけない。つまり、世界レベルで見てはじめて、日本内部のこともよくわかるということと、広く周りを見る目を養うことの大事さを感じました。

## 【 2012 J-Win ダイバーシティ・アワード発表 】

名だたる企業の女性活用の取り組みを知ることができ、視野が広がりました。実は女性はチャンスに恵まれた環境にいる、ということも感じました。表彰を受けた企業のトップの女性活用についての考え方は、会社を成長させていくために、女性の能力に着目し、それを活かそうとするものです。女性活躍を推進していくにあたり、問題点を具体的に洗い出し、改善している姿が印象的でした。

(担当 磨谷)



## アンテナショップを見学



J-Win拡大会議の翌日、各自治体の「アンテナショップ」を見学しました。福井県「ふくい南青山291」、新潟県「新潟館ネスパス」、奈良県「奈良まほろば館」の3つを訪れ、違いを学びました。

地域の特産品を都市部でどのように発信していくか、各県のショップとも特徴があり、創意工夫していました。福井県のショップでは、実際に生産現場に赴いて知識を得るなど、“商品についてのストーリーをセールスできるように”スタッフ教育をしていることが非常に印象に残りました。

ふくい南青山291ができてすぐの頃に行ったことがありましたが、その頃と比べると品数もかなり増え、上品な雰囲気のお店になっていると感じました。南青山という場所に合った店内の雰囲気や展示になっており、福井県民の私でももう一度行きたいと思うので、リピーターが多いということにも納得しました。

(担当 磨谷)



(ふくい南青山291前にて 井上館長と)

## J-Win拡大会議に参加して

J-Winの活動内容が、メンバーを送り出している企業側も満足できるものとなっていること、活動の幅が広くワールドワイドな考え方の勉強になること、通常業務以外の分野を体験することで報告の内容に奥行きが加わることを実感しました。

交流会では、各企業の社員との名刺交換などが行われ、和やかな雰囲気においても、人を巻き込み、やる気にさせることができることを学びました。J-Winの素晴らしいメンバーに出会えたこと。東京の働く女性たちのリアルな声が聞けたこと。こうした機会を得られたことに感謝しております。

(福井貨物自動車(株) 坂下 幸子)

色々なことがまだ足りない・甘かったことを痛感させられました。世界と日本情勢を見つめる目を持つこと。曖昧な考え方で物事を進めていけないこと。具体的なデータや数値・分析を元に対策を具体化すること。現状に満足せずイノベーション(革新)を進めていくこと。自分の今までの考えにとらわれず、柔軟に行動を変化させていくこと。小さな一歩から大きな一歩へまずは行動していこうと思いました。

(新田塚スポーツクラブ・アーク 荻原 志のぶ)

普段の仕事では、なかなか体験できない貴重な体験をさせていただきました。よい刺激になったと思います。ありがとうございました。

(江守商事(株) 有賀 尚江)

内永理事長をはじめ、J-Winのメンバーたちが、とても明るくキラキラと輝いていたのが印象的でした。自分の仕事をこなしながらも、J-Win活動にも積極的に参加し、D&I推進に力を入れていることに刺激を受けました。明るく前向きなJ-Winの女性たち。彼女たちからもらったエネルギーを、まずは自分の所属する課から広げていこうと思います。

(永森建設(株) 磨谷 かほり)



## 第4期ふくい女性ネットの活動を振り返って・・・



## 「楽しむ力を 大きなエネルギーに変えられる場」

ふくい女性ネット第4期会長  
坂下幸子  
(福井貨物自動車(株))



昨年7月からスタートした、第4期ふくい女性ネットの活動。わずか9ヶ月の活動期間でしたが、とても中身の濃い活動内容でした。  
メンバー全員に、今期初めにふくい女性ネットでの活動について設定していた目標を聞きました。そして、期末時点での達成具合、また今期活動の感想等を聞きました。さて、結果はどうだったのでしょうか？

【質問内容】 ①ふくい女性ネットでの活動目標は？ ②目標の達成具合や、活動に参加しての感想

## ～ 情 報 発 信 部 会 ～

- ①職場内の女性に意識調査のアンケートを実施する。アンケートに基づき、個人のレベルに応じて活動内容をフィードバック。また、公開セミナーやキャリアカウンセリングなどを活用することで仕事に対するモチベーションの向上をはかる。  
永森建設(株) 磨谷 かほり
- ②アンケート調査を実施し、女性社員の意識レベルは把握できたが、個人個人に対してのフィードバックまでには至っていない。まず、「ふくい女性ネット」の活動を社内に知ってもらうことが必要だと感じました。  
福井商工会連合会 宮崎 直美
- ①積極的に意見を述べる。  
②情報発信部会のメンバーと活動に取り組んでいる中で、自然と意見や思いを述べ取り組んでいる自分、自然と前向きに行動している自分がいました。目には見えない力がふくい女性ネットには確かにあります。  
福井県 井花 知江美
- ①仕事に対するモチベーションを上げ、それをキープするためのノウハウを身につける  
②色々な人との交流や社会についての勉強を通じて、絶えず刺激を受けることがモチベーションを上げる方策と心得ました。それには女性ネットメンバーとの交流が最適！！新たな視点を持つことができました。  
福井県 井花 知江美
- ①自分の殻を破ること。また、可能性を広げること。  
②第一の目標である殻は破れなかった。しかし、可能性を広げることができた。新しいことへの挑戦も、やれば「できる」と実感。「スキル」が高まったと感じる。また、女性ネットメンバーとの交流により、さまざまな気づきを得られたことが、何より嬉しい。  
(株)PLANT 武澤 晃永
- ①公開講演会への参加者を募る。  
②公開講演会の案内には、みんな興味を持ってくれ、「元気な女性の刺激をもらいたい！」という声を聞くことができたのは嬉しかった。講演会やレポートの発行など、メンバーみんなでやり遂げた時の連帯感と達成感は、初めて感じる喜びでした。  
北陸電力(株) 田中 裕子
- ①社内で、積極的にイベントの告知をする。  
②さまざまな業種の働く福井の女性に出会い、また県外で活躍するキャリアウーマンと触れる機会があり、とても良い刺激を受けることができ、人生の財産になったと思います。  
松文産業(株) 松浦 悦子
- ①「自分なりの意見を発言してみる」  
性別や年齢にとらわれることなく幅広く意見交換できる機会を増やし、最終的に自信を持って発言できるようになりたい。  
②エネルギーに活動するメンバーに感化され、自ら発言する機会をもちました。ただ、躊躇してしまうことや上手く伝えられないことも多々あったので、ネットでの活動を通して自己改革につなげていきたいです。  
越前町 谷口 悦子
- ①ひとつでも多く自分の意見を発信する。  
②活動を通して、積極的に意見交換できたと思います。メンバーとの交流や、女性ネットの活動を通して、これからも働く女性でありたいと強く思いました。  
サカイオーベックス(株) 小竹 綾子



(情報発信部会メンバー)

目には見えない力が「ふくい女性ネット」にはあります！

## ～ 自己研鑽部会 ～

①ふくい女性ネットで得た情報(講演会、他社企業の取り組み)を、社内で報告し、女性が活躍できる職場づくりのために生かす。

また、弊社の女性の働き方について、外部へ発信する。

②社内外の情報発信という点では苦戦しました。目標となる方を多く見つけられたいい機会でした。

(株)アイル 青木 里佳

①さまざまな企業・人との人脈を形成するとともに、会社に情報をフィードバックする。

②参加するだけで精一杯だったので、達成率は30%程度。しかし、県内にさまざまな企業があることや皆がどんな仕事をしているかを知ることができ、参加前に比べて県内企業により興味を持てるようになりました。

(株)ウララコミュニケーションズ 荒木 麻衣子

①他社を知り、自分を知り、ステップアップする。

②他社の女性の仕事に対する考え方や、取り組み方を知ることができました。

あつという間の一年間でしたが、会社以外でメンバーの方々と活動できたことはとても良い経験になりました。

メンバーの皆様から刺激を受け、自分のモチベーションも上がりました。

(株)オムキャスト 上田 江利子

①職場内の若手女性の交流を深める。

②目標を達成することは出来ませんでした。しかし、社外でのネットワークが出来たことで、色々なことに対してモチベーションが上がり、前向きに頑張れるようになりました。来期は自らチャレンジしていきたいと思えます。

(株)SHINDO 谷川 由起

①昨年の経験を生かして、もう一歩前に前進してスキルアップを図る。

講演会やセミナーの運営・進行方法を取得する。

②講演会やフォーラムの司会進行などを経験でき、一歩前の前進のミッションは達成できたのではないかと感じています。

新田塚スポーツクラブ・アーク 荻原 志のぶ



(自己研鑽部会メンバー)

メンバーからの刺激を受け、モチベーションが上がりました！

## ～ 交流部会 ～



(交流部会メンバー)

①(当初目標)職場内女性の社外活動推進

(期中からの密かな目標)相手を信じて任せる

②社内活動推進は実績が足りないが、人との繋がりや協力体制の重要さを習得してくれた女性もいて、今後も継続していきたい。

また、相手を信じて任せることは非常に難しいことだが、意識して取り組むことで自分の成長にもなった。これからも女性ネットでの経験を活かして前進していきたい。

(株)キタジマ 北嶋 さおり

①社内で、ふくい女性ネットレポート、公開講演会参加案内などを回覧し、活動についての理解を深め、講演会に参加をしてもらう。

②活動への理解は得ることができ、弊社から第5期メンバーが選出されました。講演会参加者はいなかったため、目標達成は6割。多くの方々と出会い、皆さんの能力と意識の高さ、積極性に刺激を受けました。この繋がりを大切に、自分の長所を活かして前向きな姿勢で取り組んでいきたい。

福井県赤十字血液センター 石田 裕美

①様々な分野で活躍する人の考えに触れることで、視野を広げ、今の自分より成長する。

②少し視野が広がり、小さな気づきがたくさんありました。また、何事にも前向きに取り組んでいっしょな人と交流することで、自分自身の考え方の幅も広がり、仕事にも楽しさが出てきました。気づきを行動に繋げて成長を目指します。

福井県民生活協同組合 市村 千香

①ふくい女性ネットで生まれた人のご縁を大切にする。

②異なる業種や職種の方たちとの活動の中で、自分が今置かれている現状を比較・認識できたことが大きかったと思います。

想像力を活かした発想力や、メンバー皆さんのコミュニケーション力の高さに感心させられたり反省したり、刺激を受けたりした活動でした。

学校法人 福井仁愛学園 田宮 沢美

①女性が企業にどれだけ貢献できるか、他社の女性の活動を参考にして自社で取り入れられるか。

②達成の度合いは低いので、来期は少しでも取り入れていきたいです。他の企業方々と知り合いになれば、沢山のパワーをもらいました。

福井信用金庫 宮田 幸代

①活動内容を社内にフィードバックする。

②例会に出席できないことが多く、中途半端に終わってしまった気がします。けれども、前向きで積極的なメンバーの姿勢に刺激を受けたのは確かです。女性だからこそできる分野を伸ばしていくことが大切であると感じました。

福井経編興業(株) 橋本 豊美

①公開講演会に社内参加者を募集し、女性活躍推進に興味を持ってもらうきっかけづくり。

②社内ネットワークを活用し、参加者募集の呼びかけや、チラシを掲示するなど社内でPRをしました。

メンバーとの交流を通して、気持ちの共有ができ、いろんな考え方を知ることができ、新たな気づきを多く得られました。

この事が仕事のモチベーションにも繋がっています。皆さん、ありがとうございました！

福井鋳螺(株) 加藤 友紀

新たな気づきを得ることができました！

どのメンバーも「ふくい女性ネット」の活動を通して、多くのことを得ることができたんだと、改めて実感しました。メンバーと過ごす時間は、刺激的で有意義な時間でした。ふくい女性ネットの活動をバックアップしてくれた県職員の方々、私の派遣に協力していただいた会社の方々、そして女性ネットの活動に関わる全ての方々から感謝申し上げます。(担当:小竹)